



製作したミニチュア門松



集合写真

鳥取お城委員会 副委員長 亀谷 勇斗

ミニチュア門松ワークショップ
 鳥取お城委員会は12月20日(金)に鳥取久松小学校5年生約60名を対象に課外授業としてミニ門松作りのワークショップを行い、地域の商店街へ配布するお手伝いを致しました。鳥取城三階櫓早期実現に向けた取り組みとしてボランティア活動を実施する中で久松小学校の職員よりお声掛け頂きました。

また、子供達が久松地区の魅力を調べその良さや問題点について考え、地域の人の思いや願いを知り、ふるさとの良さを広く伝えて行く為を実施する運びとなりました。久松山を考える会の方々からのご協力も得る事ができ、天然の竹や松の確保から始まりました。

当日は、子供達も初めての事で戸惑いながらも一つ一つ丁寧に作成し一軒一軒配ってまわりました。配布してしまわれた商店街の方々には子供達から受け取ったミニ門松を手に取り、素晴らしい仕上がり笑顔溢れる取り組みとなりました。

多くのご協力を頂き実施に至りましたが、今後こうした取り組みを通じてより地域愛が生まれていくことを願っております。



参加したメンバー



植樹の様子

総務委員会 副委員長 荒川 恵介

因幡千本桜「桜の園」植樹事業
 令和7年1月15日(水)ヤマタスポーツパーク内にある因幡千本桜「桜の園」にて植樹事業を開催いたしました。本事業は1985年に最初の植樹が実施されて以来、今年で40年の節目を迎えます。歴代鳥取YEGの諸先輩方のご尽力により、現在「桜の園」には千本を超える桜が植樹されており、桜のシーズンには多くの花見客が訪れる、鳥取市を代表する桜の名所として親しまれています。

当日は時折雪が舞う厳しい寒さの中での開催となりましたが、谷尾OBのご指導の下、青年部メンバー約30名で遊歩道沿いの法面にシバザクラ230株を、公園芝生内の一角にはシダレザクラの苗木1本を植樹しました。

近年、公園内の桜は老朽化によって枯れてしまつてもあり、その数は減少傾向にあります。これまでも当会では定期的な植え替えや水やりを通じて桜を守り、その数を絶やさない活動を続けてまいりました。この「桜の園」は鳥取市民の憩いの場所であると同時に鳥取YEGの誇りでもあります。私たちはこの場所を後世に引き継いでいくため、景観の維持管理に加え、桜の名所としての新たな魅力を模索し、多くの方々に愛される場所としてより一層磨き上げていきたいと思っております。

最後となりましたが、本事業の開催にご協力いただきました全ての皆さまに心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

鳥取YEGでは
鳥取を盛り上げる方募集中!!

鳥取YEGは、地域を支える青年経済人の集まりであり、一緒に鳥取を盛り上げていただける方を随時募集しています。次世代を担う立場として、熱意を持って一緒に頑張るませんか?! 鳥取YEGで出会う「縁」に変えて、企業と地域を活性化させましょう!
 お気軽にお問い合わせください。

TEL:0857-32-8004
 (鳥取商工会議所青年部 事務局)

新入会員



山岡 弘明 君
 (やまおか ひろあき)
 事業所名 山岡弘明税理士事務所
 所属委員会 会員交流委員会



太田 亮 君
 (おおた りょう)
 事業所名 REIGNS(レイン)
 所属委員会 会員交流委員会

鳥取 YEG 通信



TOTTORI
 YOUNG
 ENTREPRENEURS
 GROUP
 発行:令和7年2月15日
 鳥取商工会議所青年部
 広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

2



■令和6年度
会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
 会長 **高藤 軌晋**
 株式会社 オービット

向春の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。立春を迎え、寒さの厳しい日が続く中にも、あたたかい陽射しに春の兆しを感じる日々皆さまいかがお過ごしでしょうか。寒暖差が激しい時期でもございますので、どうぞご自愛いただき充実した日々をお送りください。

1月8日(水)に開催いたしました1月例会では、鳥取お城委員会が担当し、「CIVIC PRIDE」とあつとに続くこの私達の足跡を城跡に」というテーマのもと、鳥取市文化財課の細田隆博様、そして当会OBであり鳥取三十二万石お城まつり実行委員会委員長である瀧本覚様のお二人を講師としてお迎えしました。お二人からは鳥取城跡の歴史やその復元への取り組み、さらに青年部がこれまで携わってきた活動について、当時の想いや貴重な映像を交えたお話をいただきました。この例会を通じて、私たち青年部の役割と責任、また地域に根差した活動の大切さを改めて実感いたしました。今年度も「鳥取城跡清掃ボランティア事業」や「お堀の水全部抜く大作戦」、「ミニ鳥取三十二万石お城まつり」、「ミニ

チュア門松ワークショップ」などの活動を、地域住民の皆さまや近隣の学生の皆さんと力を合わせて行つてまいりました。それぞれの事業には「CIVIC PRIDE」という想いがあり、鳥取愛と誇りを胸に地域の皆さまが主役となる場を提供することができたと考えております。次年度も引き続き城跡エリアを中心とした賑わい創出を目指し、挑戦してまいります。

また、同日開催されました臨時総会では、令和7年度役員選出案が承認されました。次年度民野会長を中心に、新しい理事メンバーが多く加わり、これまでの経験を土台にしつつ、新たな発想や感性を活かし活動していくことを期待しています。

1月15日(水)には、因幡千本桜「桜の園」にて植樹事業を実施しました。この活動には、谷尾OBの指導のもとYEGメンバー30名が参加し、シバザクラ230株とシダレザクラ1本を植樹しました。桜が成長し満開になるのは数年先ではありますが、毎年植樹を重ねることで「桜の園」が一層彩りを増し、市民の皆さまに春の楽しみを提供できる場になることを目指しております。今年も約2ヶ月後には千本桜が咲き誇る姿を楽しみにしています。ぜひ皆さまにも今春、桜の園に足を運んでいただければ幸いです。

私の任期も残りところ僅かとなりました。多くの方々のご支援とご協力をお願いしながら、さまざまな活動に取り組むことができました。残された中でも初心を忘れず活動を進めてまいりたいと思っております。引き続き皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1月例会・臨時総会

鳥取お城委員会は1月8日(水)に1月例会を開催いたしました。

「CIVIC PRIDE」とあつとに続くこの私達の足跡を城跡に」と題し、2名の講師をお招きし、鳥取城の歴史、鳥取城とYEGの歩みなど、根本の部分について扱いました。

第一部では鳥取市文化財課の細田隆博様に鳥取城の歴史、鳥取城復元に向けた取組、そして今後の展望についてご講演いただきました。

第二部では当会OBであり鳥取三十二万石お城まつり実行委員会の実行委員長の瀧本覚様にご講演いただきました。瀧本様は鳥取YEGが鳥取三十二万石お城まつりに初めて参画した当時の委員長であり、当時の様子を映像を交えてお話いただきました。

そして第三部では当委員会の今年度の活動を動画で振り返りました。



例会の様子



講師の瀧本様と細田様

例会後のアンケートでは「活動の原点が知れてよかった」「知らなかった歴史が知れてよかった」などの意見が多く、私自身当時のYEGも同じ志を持って、鳥取城に関与されておられたことが非常に印象に残りました。

当委員会は今後も鳥取城の復元とまちの活性化に注力していきたいと思っております。そして、鳥取YEGの諸先輩方、市民の皆様が繋いでくれた思いを、次年度、次世代に受け継いでいきたいと思います。

鳥取お城委員会 委員長 河田 圭太